

### 第3回東栄町医療のあり方検討委員会 議事録

1. 日 時 平成24年 8 月 9 日 (木) 午後7時～9時10分

2. 場 所 東栄町役場 会議室

3. 出席者 計26名

委員23名

初澤宣亮、佐々木嘉郎、平林光子、伊藤芳孝、平賀英俊、丹羽治男  
鈴木義治、佐々木加津之、峯田聖子、佐々木徹、三城富子、森イツ子、  
亀山志津子、杉山知実、桂木勇、熊谷廉太郎、鈴木勝美、一野瀬忠義、  
林敏和、藤原隆、村上孝治、金田久世、石黒紋加

事務局2名

福祉課 課長 原田英一、保健衛生係長 長谷川伸

その他 1名

東栄町長 尾林克時

4. 欠席者 3名

佐々木経人、片桐邑司、西尾重光

5. 傍聴人 3名

村本敏美、加藤彰男、原田 勝

(敬称略)

6. 議 題

勉強会

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| (1) 東栄病院の課題について   | (東栄病院 事務長 鈴木 義治氏) |
| (2) 東栄病院の経営状況について | (東栄病院 事務長 鈴木 義治氏) |
| (3) 最近のトピックス      | (東栄病院 院 長 丹羽 治男氏) |

会長挨拶

今回は、東栄病院の歴史、医療の状況についてお話をさせていただき、今日は課題を踏まえて病院の経営状態ならびに経営の見方というところで話が進んでいくかと思う。

10月ないし11月前半ぐらいまでに、視察にも行き、本格的な議論に入って行きたいと思っている。視察場所は高野山と、いぶきの施設を考えている。

では、さっそく今日の勉強会に入ります。よろしくお願いします。

**議題ごとに、「スライド」と「配布資料」を使用し、講義に入る。**

委員

医師確保は義務年内の先生が自治医大から来ていただいているが、義務年内というのは何年間になっているか。

委員

卒業後、9年間。

委員

介護スタッフで、常勤介護士3名、非常勤が4名などとなっているが、20名以外に非常勤が、まだ5名いるということか、または内数という意味か。

委員

常勤20名の他に非常勤の介護スタッフが5人いるということです。そのうち、一般病棟の介護士は常勤が3名と非常勤が4人いる状況である。

委員

東栄病院は、事務職等、この病院規模に対して、この人数というのは適正なのかどうか。

委員

ほぼ同じ大きさの病院で、雇用形態は違うが、事務系の職員の合計数としては、ほぼ妥当であると考えている。

委員

看護基準のところ看護師に余裕があるから7：1が、作れるということでよいか。

委員

10：1、7：1などは、看護師が入院患者さんに対してどれだけ人がいるかという事で、例えば患者さんが21人の場合、10：1や7：1では、看護師が常時少なくとも3人いることになる。

13：1の場合は、看護師が2人ということになる。同じ21人入院している場合でも7：1と数字が小さくなるほど、患者さんの数に対する看護師の数が多く必要になる。

委員

東栄病院をまとめて簡単に言いますと、東栄病院の施設の基準 療養病床 重篤な患者を送ってしまうと経営的に儲けのあるところなくなってしまうのではないかと。

委員

逆に言うと重篤な患者さんを診るからといって経営がよくなるとも一概にいえない。人の配置の確保も必要となり、費用がかかる。患者さんが負担する費用もかかるし、病院として確保しなければいけない人員も増え、その分の費用もかかる。収支面でのボーダーラインを見極めて運営していく必要があると思う。

事務局

次回は8月23日木曜日に開催する予定です。

以上をもちまして、終了いたします。